

新しい、家族の時間が流れ始めた。



3人と1匹の暮らし

よく話しかけてくれるまちの人

乗り換えなしの通勤

「まつど」にあった、自分好みの心地良さ

鐘ヶ江 翔(かねがえ しょう)さん・朋子(ともこ)さん

静岡県出身で、都内の印刷サービスを展開する会社に勤める翔さんと、岡山県出身で、都内のカスタマーセンターに勤める朋子さん。2019年3月に、東京の上北沢から、縁もゆかりもなかった松戸市・北小金にお引越す。



ペットを飼える

駅近物件を探していたら

以前は、東京の上北沢で暮らしていた鐘ヶ江さんご夫妻。松戸に住むことになったきっかけについて、「2人とも地方出身ですが、大学や専門学校への進学をきっかけに上京してからずっと、東京暮らしでした。犬を飼える駅近の物件を探していたら、ポツンと検索結果に北小金の物件が出てきて。ふと、住んでみたことがないエリアだし、千代田線が使えるから通勤にも便利だねって」と、朋子さん。「1物件目だったのですが、内覧したら2人で即決でしたね。駅から近いのに静かで、『東漸寺(とうぜんじ)』の参道も時代劇に出てきそうな雰囲気デテンションが上がりました」と、翔さんは笑う。

松戸市に来てから

目まぐるしい暮らし

松戸市に来てから、3つの大きな出来事があった。念願だったペットとの出会い、翔さんの免許取得そして朋子さんの妊娠。「いま飼っているミニチュア・シュナウザーは、茨城県のペットショップにいた子なんです。『テラスモール松戸』の近くのペットショップに連れて



きてもらえて、『この子だ!』って連れて帰りましたと、朋子さんはスマホの待ち受け画面を笑顔で見せてくれた。免許は、「学生時代に取得しそびれていたんですが、子どもが生まれたら車移動できると楽だなって思ったんです」と翔さん。そして、家の近くにある産婦人科に通い始めた朋子さんは、「初めての妊娠でしたが、優しい先生に診ていただけで安心して出産することができました」と振り返る。

共通の趣味を

楽しめるスポットも発見

学生時代からバンドでドラムを担当していた翔さんと、別のバンドでベースを担当していた朋子さん。夫妻の出会い

いも、共通の趣味である音楽を通してだった。そして、もう1つの共通の趣味が、メダルゲーム。「好きなんですよね、永遠にしていたいぐらい」と朋子さんが笑うと、「近くにゲーセンがあるのは、良いなと思ったよな(笑)。松戸駅の近くにも、レトロなゲーセンもあって気になっていきます(笑)。子どもが生まれてからは行くことができていないけれど、気軽に夫婦で楽しめるリフレッシュ方法です」と翔さん。

まつど暮らしは

よく話しかけられる?

まつど暮らしも3年目。翔さん曰く「僕より都会が好き」という朋子さんは、どのように思っているのか尋ねると、

「今は育休中なので、働き始めたら感じる方が変わりそうです。都内に住んでいる友達が多いので、急には集まれないかな。でも、友達がこちらに来てくれるかもしれないね。松戸市の生活には意外と慣れてきました。子どもや犬と一緒にだからかもしれませんが、すぐ話かけていただきます。あとは、スーパーに行くとしじの方がかごを運んでくれたり、八百屋さんいろいろおすすめてくれたり。サザエさんに出てきそうな八百屋さん」と朋子さんが

言う、「よくたくさん買って帰って来るよね」と翔さんは笑う。「少しずつ行きつけのお店もできて、パンは『ツオップ』さんですね。リトルミントさんでは、いつも愛犬を可愛くトリミングしてもらっています」と朋子さん。

意外と自分の好きなものが近くにあるのかも

翔さんは暮らしの変化について、「通勤時間は長くなったけれど、40分ぐらい

乗り換えなしなので、貴重な自分の時間になっています。スマホゲームをしたり、アニメを見たりしていますけどね(笑)。子どもが生まれたこともあるけど、新宿、下北沢、吉祥寺に行かなくなりました。そこまで行くなら、柏、亀有、北千住でいいかなって。下北沢、吉祥寺では古着をよく買っていたんですが、噂で柏にも古着屋が多いと聞いたので行ってみたら、下北沢での行きつけのお店の系列店がありました。すごく好きだったラーメン屋の『せい家』も、柏にあることがわかって。自分の好きなものが、意外と近くにいっぱいあるぞって思いました。新しい楽しみは、駅前にいくつかあるカーシェアを利用して、流山に子ども服を見に行くことかな。コロナ前は友人家族と『マザー牧場』に遊びに行ったことも。外環を利用して片道2時間ぐらいで行けたので、近いし楽しかったです」

保育園や習いごと

夫婦で子どものことを考えながら

東京暮らしから、まつど暮らしへ。2人暮らしから、3人と1匹の暮らしへ。「こつ暮らしせたらいいな」を少しずつ、叶え始めた鐘ヶ江さん夫妻。最後は、お子さんについて聞いてみると、「今年

保育園に入りたいと思っています。駅前などにいくつか保育園があるの、調べ始めています」と朋子さん。翔さんは、「子ども向けの習いごと教室もたくさんあるみたいなので、楽しみます。時代的には、プログラミングや英語が良さそうですね。2人ともできないので、センスがないかもしれないけれど1度チャレンジさせてあげたいです。大きくなったら楽器を演奏してくれると嬉しいですね。一緒に演奏できる日が来るのかな」



私らしく、のびのびと根を張る。



夫と2人で

気のおけない仲間たちと

「まつど」を起点に

好奇心のままに、あちこちへ。

鶴見 奈央子 (つるみ なおこ)さん

和歌山県生まれ。大学卒業後、都内の証券会社で営業を経験し、現在は都内の会社でディレクターとして活躍中。松戸市生まれ・松戸市育ちの将史さんと結婚。松戸駅近辺に住み、清澄白河駅近辺に移り住み、2017年5月より、松戸市・新松戸で再びまつど暮らしをスタート。

